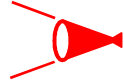


関係者ヒアリングについて

運動部活動顧問の声



- 休日が地域に移行した場合、平日の扱いはどのようになるか気になる。
- 平日を担える地域指導者と言われるとなかなか教員以外にイメージしにくい。兼職兼業して指導に関わる方法も検討してほしい。
- 休日のみ地域に移行した場合、平日の部活動との連続性が失われ、指導者が並立することとなって、生徒に迷いが生まれる懸念がある。
- 大会運営においては、現状多くの教員が支えて成り立っている。休日の指導を地域指導者が担うこととなった場合の大会運営のあり方について懸念がある。
- 部活動地域移行にかかる他市の動向が知りたい。
- どのような地域人材にお願いしていくか、信頼して子どもたちを預けられる方が重要である。
- 生徒数の減少に伴い、部や種目の存続が危ぶまれる状況となっている。できるだけ早期の地域移行を望む。

学校管理職・文化部活動顧問の声



- 文化部の多くは休日に活動しているわけではないので、休日だけの地域移行では現状と変わらない。
- 吹奏楽部は学校ごとではなく、市内の吹奏楽部顧問が一堂に会す場で協議する方が建設的である。その際は、市内の吹奏楽連盟も同席する方が円滑である。
- 近年、生徒の運動離れが進んでいるのか、文化部への入部は増加傾向にある。
- 学校に登校しにくい生徒が所属する中で、授業には参加できなくても部活動には参加できている場合があり、学校との貴重な接点になっている。
- 特別支援学級の生徒が所属しているケースも多く、地域移行後にも同様に参加できるインクルーシブなクラブができるのか不安。
- 放送部は学校行事で活躍しているので、地域移行となれば、放送部の担っていた役割を生徒会や放送委員会等で補完する必要が生じる。

スポーツ協会所属の各協会・団体の声

- 地域移行に協力したい気持ちはあるが、団体役員の高齢化が進んでおり、中学生の指導には体力的な不安がある。
- 団体の会員は平日の昼間は働いているので、平日の指導は難しい。
- 部活動をそのまま引き受けるのは難しいが、もっとゆるやかな活動で良いのであれば、協力できる部分はあるかもしれない。
- 資格が必要となれば、指導者を探すのは困難になる。
- 市が具体的な方針を示していない今の段階では、協力できるか否か判断できない。
- 様々な志向があり、個人競技なら1つのクラブ内でも対応できるが、団体競技であれば難しい。

文化連盟所属の各協会・団体の声

- 会員に地域移行のイメージが全く伝わっていない。部活動の指導と考えると、指導者確保は難しくなる。
- 会員数は横ばいもしくは減少傾向にある中で、地域移行に協力する形が見えてこない。
- 団体役員の高齢化が進んでいる中、中学生の指導でお手伝いできることはないと思う。
- 生徒を指導するとなると、発表の場など、目標(モチベーション)が必要。消極的な理由で文化部を選んでいる生徒がいるとすれば、地域クラブになっても参加するのかは疑問が残る。
- 文化種目は◇◇教室など生業にしている方が多い中で、民業圧迫が懸念。
- もっと教員とコミュニケーションを図りたい。
- 自分がしたくて活動している人が大半なので、指導者確保は難しい。